

## GAP 認証制度の取り組みは

お茶で1件、施設園芸で2件、渥美農業高等学校がミニトマトでグローバルGAPを取得



仲谷 政弘  
自由民主党田原市議団

### 農産物の輸出拡大に向けた取り組みについて

**問** これまで取り組んできた農産物輸出事業の成果と課題は。

**答** 成果として、香港・マレーシアでは、フェア出展やバイヤー招聘等を通じ、現地の流通事業者からフェア期間以外にも直接問い合わせがある。また、香港のフラワーショーでは、高い評価を受け、今後の輸出拡大に期待している。  
課題として、輸出を行うJAや農家、食品事業者など幅広い事業者が輸出に関心を持ち、主体的に取り組んでもらう必要がある。

**問** 直近の輸出実績の品目別数量は。

**答** 本年度の令和元年12月末時点で、マレーシアにアールスメロン、タカミ、イエローキングのメロン類720kg、豊橋市と合わせて香港にミニトマト574kg、スナップエンドウ14kgを輸出。近年では、バイヤーからの個別の引き合いで香港に1年当たりアールスメロン約300ケースを輸出している。

**問** GAP（※）認証制度の取り組みは。

**答** お茶でグローバルGAP1件、施設園芸でASIA GAP・JGAP各1件、また事業者ではないが渥美農業高等学校がミニトマトでグローバルGAPを取得した。この他、愛知県GAPに2件申請している。

**問** HACCP（食品の安全性を確保する衛生管理の手法）の導入状況は。

**答** 愛知県HACCP導入施設に伊良湖ビューホテル、フタムラ化学(株)田原開発センターの2件が認定されている。

**問** 令和3年6月までに、原則すべての食品事業者に対しHACCPに沿った衛生管理が義務化されるが、HACCPの導入促進に向けた市の取り組みは。

**答** 認証取得や施設改修等の相談があった際には、国の支援制度の活用に関する情報提供を適切に行う。

※GAP（Good Agricultural Practice）

農業における持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み

### 田原市博物館の今後の運営について

**問** 博物館の現状と課題は。

**答** 年2〜3回の特別展・企画展と平常展の展覧会を開催しているが、利用者数は伸び悩んでいる。郷土の歴史及び文化を伝えていくために、いかにして利用者を増やしていくのが課題である。

**問** 博物館利用者が伸び悩んでいる現状をどう捉えているか。

**答** 博物館の利用者の伸び悩みは、全国的な傾向だが、施設の老朽化や開館以来常設展示の内容が変わっていないことも要因の一つと考える。

**問** 市内の方に何度も足を運んでいただく対策は。

**答** 渡辺華山の常設展示の大きな見直しは考えていないが、企画展示室の一つを期間ごとに郷土の歴史や文化を紹介する展示に変える計画をしている。



長神 隆士  
自由民主党田原市議団

### 交流人口増加につながる 今後の博物館の運営は

さまざまな機関等と連携し魅力を高め  
ていく